



# 株主通信

第58期 決算のご報告  
2015年4月1日から2016年3月31日まで



株式会社 **丸順**

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第58期決算（2015年4月1日から2016年3月31日まで）を終了いたしましたので、ご報告を申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年 6月

代表取締役社長

今川 喜章

### 連結業績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国では家計支出の堅調さに支えられ着実に回復が続いております。アジア地域について、タイでは、干ばつに伴う農産物価格下落及び家計債務の拡大による消費者の購買力の低下などの影響があるほか、中国でも、製造業の過剰設備や在庫調整が下押し圧力となり、減速した状態が続いております。日本では個人消費の弱さがみられるものの、非製造業を中心に企業収益に改善傾向がみられるなど緩やかな回復基調が続いており、全体としても先進国を中心とした緩やかな成長が続いております。

当社グループが属する自動車業界においては、米国では低金利自動車ローンやリースの提供、原油安及び力強い雇用の伸びが追い風となり好調な需要を維持しましたが、タイでは金融機関の自動車ローン借入条件の厳格化などで販売の低迷が続きました。中国では、年度後半に小型車の自動車取得税半減措置が導入されたため販売台数の増加がみられました。日本では、軽自動車税の増税及び消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が尾を引いている状況です。

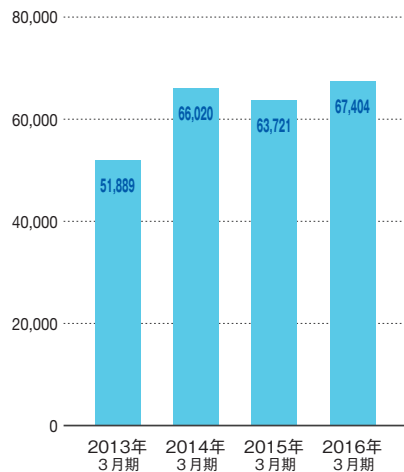
このような状況のもと、当社は厳しい収益状況からの早期脱却と、持続的な企業成長に向けた「丸順構造改革プラン」を継続して推進しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は67,404百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は1,875百万円（前年同期は2,318百万円の営業損失）、経常利益は859百万円（前年同期は2,846百万円の経常損失）の増収増益となりましたが、減損損失及び事業構造改善費用等の計上により、親会社株主に帰属する当期純損失は3,036百万円（前年同期は3,381百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

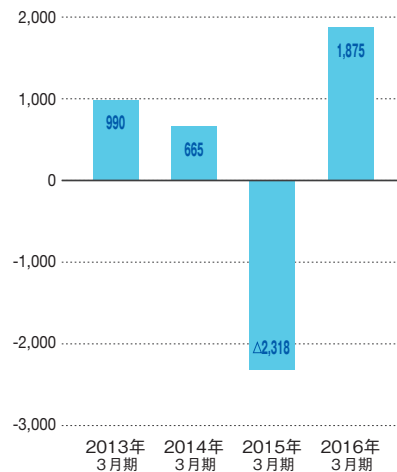
なお、早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、誠に遺憾ながら年間配当は無配とさせていただきますので、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 連結決算ハイライト

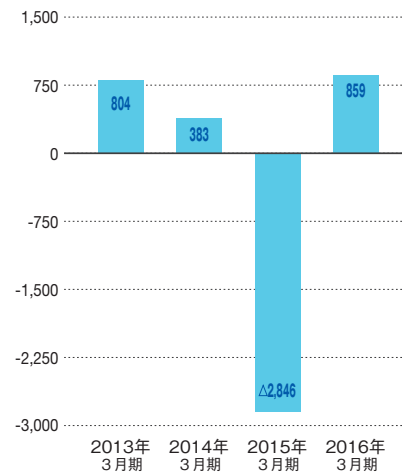
● 売上高 (単位: 百万円)



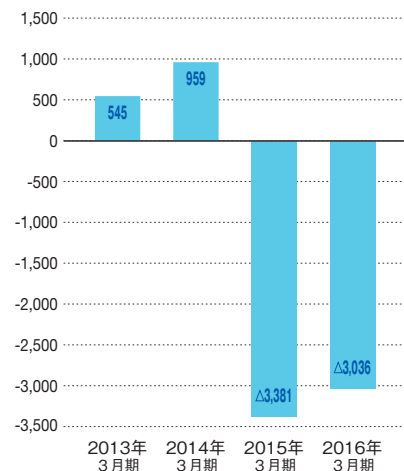
● 営業利益 (単位: 百万円)



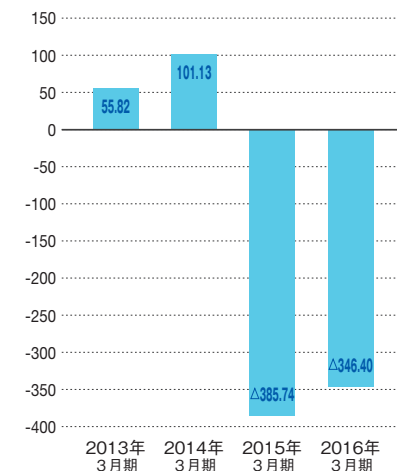
● 経常利益 (単位: 百万円)



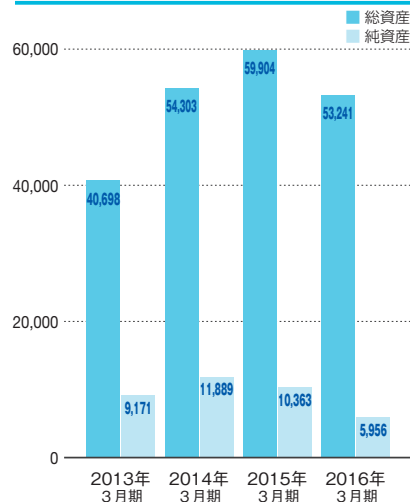
● 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



● 1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 円)



● 総資産・純資産 (単位: 百万円)



# 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末 2016年3月31日	前期末 2015年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	20,061	18,582
現金及び預金	5,922	3,579
受取手形及び売掛金	8,510	8,178
商品及び製品	622	518
仕掛品	1,961	3,156
原材料及び貯蔵品	1,065	1,536
繰延税金資産	90	64
その他	1,979	1,627
貸倒引当金	△91	△78
固定資産	33,180	41,321
有形固定資産	31,883	38,855
建物及び構築物	7,852	9,235
機械装置及び運搬具	8,014	10,076
工具、器具及び備品	7,634	9,793
土地	1,637	2,243
リース資産	2,446	2,742
建設仮勘定	4,297	4,765
無形固定資産	208	209
投資その他の資産	1,088	2,256
投資有価証券	279	1,265
繰延税金資産	277	355
その他	548	652
貸倒引当金	△17	△17
資産合計	53,241	59,904

(単位：百万円)

科 目	当期末 2016年3月31日	前期末 2015年3月31日
<b>負債の部</b>		
流動負債	35,501	33,588
支払手形及び買掛金	7,133	7,707
短期借入金	21,888	20,255
リース債務	984	894
未払法人税等	131	89
賞与引当金	52	19
その他	5,310	4,622
固定負債	11,783	15,951
長期借入金	8,244	12,781
リース債務	1,365	1,609
繰延税金負債	130	284
退職給付に係る負債	914	1,070
資産除去債務	89	87
その他	1,037	117
負債合計	47,284	49,540
<b>純資産の部</b>		
株主資本	△12	3,023
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	△1,359	1,677
自己株式	△626	△626
その他の包括利益累計額	2,265	3,228
その他有価証券評価差額金	54	554
為替換算調整勘定	2,408	2,844
退職給付に係る調整累計額	△197	△171
非支配株主持分	3,703	4,111
純資産合計	5,956	10,363
負債純資産合計	53,241	59,904

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期	前期
	2015年4月1日から 2016年3月31日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
売 上 高	67,404	63,721
売 上 原 価	60,525	61,554
売 上 総 利 益	6,878	2,166
販売費及び一般管理費	5,003	4,485
営業利益・損失(△)	1,875	△2,318
営業外収益	122	296
営業外費用	1,138	824
経常利益・損失(△)	859	△2,846
特別利益	851	186
特別損失	4,557	491
税金等調整前当期純利益・損失(△)	△2,845	△3,150
法人税、住民税及び事業税	147	385
法人税等調整額	119	162
当期純利益・損失(△)	△3,113	△3,698
非支配株主に帰属する 当期純利益・損失(△)	△77	△316
親会社株主に帰属する 当期純利益・損失(△)	△3,036	△3,381

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期	前期
	2015年4月1日から 2016年3月31日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	8,007	5,184
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,601	△10,244
財務活動による キャッシュ・フロー	△330	5,933
現金及び現金同等物に 係る換算差額	267	220
現金及び現金同等物の 増 減 額	2,343	1,093
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	3,579	2,486
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	5,922	3,579

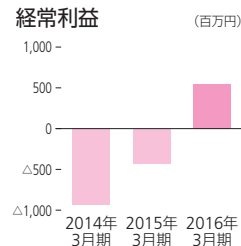
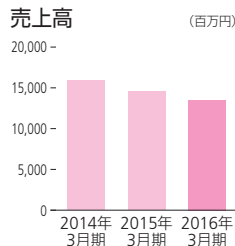
# セグメント別概況

※セグメント別の業績は、セグメント間の取引金額を含めて記載しております。

## ■ 丸 順（株式会社丸順）

丸順においては、主要客先の減産影響を受け売上高は前年同期を下回りましたが、「丸順構造改革プラン」の着実な推進による労務費や購入費などの製造原価の低減により、利益は前年同期を上回る状況で推移いたしました。

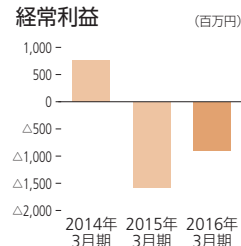
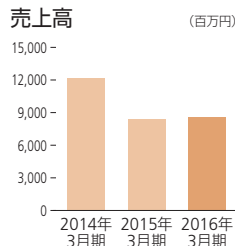
以上の結果、売上高は13,499百万円（前年同期比7.3%減）、経常利益は542百万円（前年同期は437百万円の経常損失）となりました。



## ■ タ イ（タイ・マルジュン社）

タイにおいては、自動車輸出は増加傾向にあります。金融機関の自動車ローン借入条件の厳格化などにより主要客先が減産となり、現地通貨ベースでは売上高は減少となりましたが、円安による為替影響により邦貨ベースでは売上高は前年同期を上回りました。また、継続的な製造原価低減に対する取り組みにより、損失は減少いたしました。

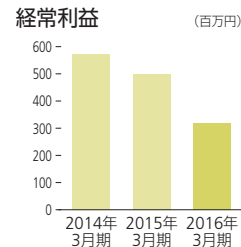
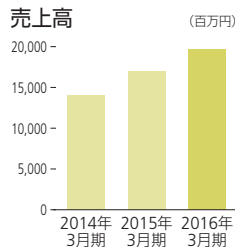
以上の結果、売上高は8,560百万円（前年同期比2.2%増）、経常損失は898百万円（前年同期は1,575百万円の経常損失）となりました。



## ■ 広 州（広州丸順汽车配件有限公司）

広州においては、客先の増産に加え、金型売上が増加したことにより売上高は増加しましたが、設備費などの固定費が増加したことにより利益は前年同期を下回る状況で推移いたしました。

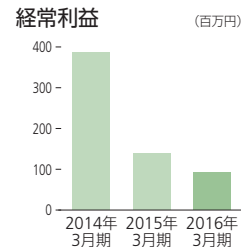
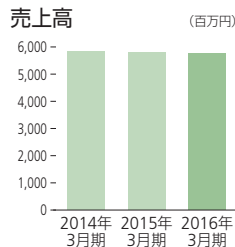
以上の結果、売上高は19,665百万円（前年同期比15.8%増）、経常利益は317百万円（前年同期比36.6%減）となりました。



## ■ 武 漢（武漢丸順汽车配件有限公司）

武漢においては、主要客先において生産機種構成について変動があり、売上高は減少したものの、為替影響により邦貨ベースでは前年同期とほぼ水準の売上高となりました。また、労務費などの固定費の負担増加により利益は前年同期を下回る状況で推移いたしました。

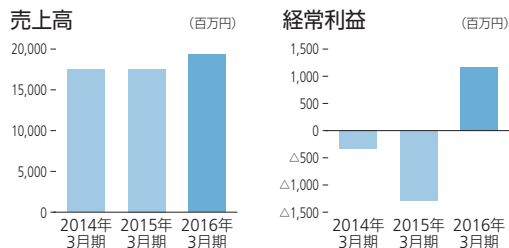
以上の結果、売上高は5,756百万円（前年同期比0.6%減）、経常利益は93百万円（前年同期比32.3%減）となりました。



## ■ インディアナ（インディアナ・マルジュン社）

インディアナにおいては、米国自動車業界の好調な需要による客先増産及び為替影響などを受け売上高は増加となりました。また、労務費などの製造原価低減により利益についても前年同期を上回る状況で推移いたしました。

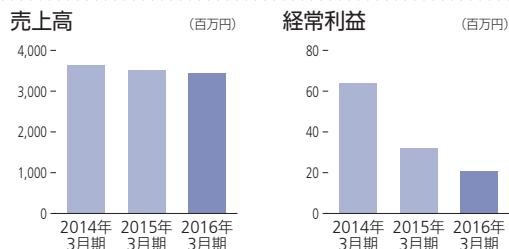
以上の結果、売上高は19,366百万円（前年同期比10.3%増）、経常利益は1,176百万円（前年同期は1,284百万円の経常損失）となりました。



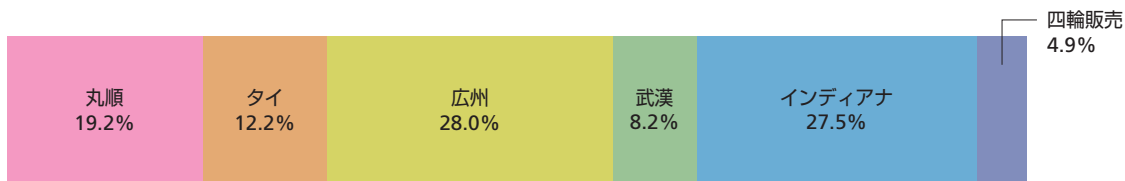
## ■ 四輪販売（株式会社ホンダ四輪販売丸順）

四輪販売においては、中古車販売部門及びサービス部門は底堅く推移いたしました。消費増税に伴う駆け込み需要の反動や自動車税増税などによる新車販売低迷の影響が大きく売上高、利益ともに前年同期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は3,432百万円（前年同期比2.2%減）、経常利益は21百万円（前年同期比33.2%減）となりました。



## ● セグメント別売上高構成比



## 丸順構造改革プランについて

厳しい収益状況から脱却し、持続的な成長を可能とするため第58期から推進中の「丸順構造改革プラン」の進捗状況について以下のとおりご報告いたします。

### 1. 経営資源の集中による事業ポートフォリオ変革

- (1) 関東客先向けプレス部品事業については、一部の部品を除き、2016年7月までに撤退の見通しです。なお、精密部品事業及びエンジニアリング事業については、順調に新規受注及び生産活動を推進しております。
- (2) 北米事業については、今後の収益が見込めないため2016年11月末日を目途にインディアナ・マルジュン社の事業を停止することを決定いたしました。また、固定資産については譲渡することとし、資産譲渡契約を締結いたしました。

### 2. 資産売却、要員削減及び工場集約によるボトム経営体質の構築

- (1) 本社機能については2015年7月より上石津工場に移転し、関連不動産については来期にかけて順次売却を推進いたします。  
また、主要な有価証券は、売却が完了しております。
- (2) 工場再編については、国内に分散する生産拠点を最大効率で活用できるよう、上石津工場の生産設備の拡張及び自動倉庫・出荷場を整備し、浅西工場から生産工程の移管・集約を推進しております。
- (3) 役員報酬、管理職給与については減額し、賞与については支給を取り止めております。また、要員の適正化のため実施した希望退職は200名の募集に対して140名の応募があり、2015年8月末日で退職をいたしました。



本社・上石津工場

## 高効率溶接汎用ラインの稼働



高効率溶接汎用ライン

当社では、自動車用車体プレス部品の溶接工程を浅西工場、上石津工場など各拠点で行っていましたが、ボトム経営体質構築のため上石津工場への生産工程の集約を進めてまいりました。

溶接ラインは人依存作業が中心で、原価率の高い工程となっておりましたが、画像処理技術の活用と当社独自の溶接ラインの構築による自動化を推進したことにより、品質の安定及び要員の適正化を実現し、新溶接ラインでは、60%以上の原価低減につなげております。



## 自動倉庫の建設

当社は、「丸順構造改革プラン」の工場再編の1つとして上石津工場の出荷場の整備及び自動倉庫の建設を行い、生産工程の移管・集約を完了いたしました。自動倉庫は、国内生産拠点を集約し最大効率で事業を進めるうえで、要員の適正化だけでなく、管理・スペース・安全などさまざまな面で大幅な作業効率アップを可能といたしました。

今後は、作業者がさらに使いやすく、スムーズに業務を遂行できるようシステム化を推進してまいります。また、出荷場を整備したことで、自動倉庫から出荷までを一方通行のシンプルで高効率な物流動線として確立させることができました。



自動倉庫



出荷場

## 武漢丸順汽車配件有限公司 1,200t順送プレス機の導入

武漢丸順汽車配件有限公司は、成長率の高いアジアで今後も当社グループの重要な海外拠点となることが予想され、更なる受注の拡大及び技術の確立に向けて1,200t順送プレス機を導入し、2015年12月より生産を開始いたしました。他社にない大型プレス機を導入することで、大型部品の順送化に対応し、当社グループの中国拠点である広州丸順汽車配件有限公司とも協力体制を構築でき、相互バックアップを可能としています。

今後も、丸順グループの戦略拠点として、一歩先を行く技術や柔軟な生産体質などの強みを活かし、積極的な受注拡大を図ってまいります。



1,200t順送プレス機

# 会社概要 (2016年3月31日現在)

商号	株式会社 丸順 (英文社名: MARUJUN CO., LTD.)
創業	昭和27年7月 (創業者 今川 順夫)
設立	昭和35年1月
資本金	1,037百万円
事業内容	自動車用車体プレス部品の製造 自動車用精密プレス部品の製造 各種金型の設計・製作 治具・検査具の設計・製作 自動車の販売・サービス
従業員数	310名(連結3,383名)

## 役員 (2016年6月24日現在)

代表取締役社長	今川 喜章
代表取締役専務	齊藤 浩
常務取締役	青山 秀美
取締役	猪熊 篤俊
取締役	上田 勝弘
常勤監査役	馬淵 仁
監査役	片岡 信恒
監査役	奥田 崇雄
執行役員	松井 恒夫
執行役員	山本 哲也
執行役員	棚橋 哲郎
執行役員	森見 幸敏
執行役員	林 和英
執行役員	山崎 英次

(注) 1. 取締役 上田勝弘氏は、社外取締役であります。  
2. 常勤監査役 馬淵仁氏、監査役 片岡信恒氏は、社外監査役であります。

## 国内拠点

本社	岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1
浅西工場	岐阜県大垣市浅西3-22-22
上石津工場	岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1
ユーテック工場	岐阜県大垣市浅西3-75
養老工場	岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1
埼玉工場	埼玉県鶴ヶ島市三ツ木新町2-5-23
栃木開発センター	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台198-5

## 国内子会社

株式会社ホンダ四輪販売丸順	岐阜県大垣市新田町2-1234
---------------	-----------------

## 海外子会社、主な出資会社

〔海外子会社〕	
タイ・マルジュン社	NONG KHAE INDUSTRY ESTATE BAN NONGSAMAK 62 MOO-6, KOKYAE, NONG KHAE, SARABURI 18230, THAILAND
広州丸順汽车配件有限公司	中華人民共和国広東省広州市広州経済技術開発区 永和経済区永盛路8号
武漢丸順汽车配件有限公司	中華人民共和国湖北省武漢市 東湖新技術開発区光谷一路223号
インディアナ・マルジュン社	200 INKS DRIVE WINCHESTER, INDIANA 47394, U.S.A
〔主な出資会社〕	
ベステックス・MM・インディア社	SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA, DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

# 株式の状況 (2016年3月31日現在)

## 株式数及び株主数

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	9,771,000株 (自己株式1,004,922株を含む)
株主数	897名

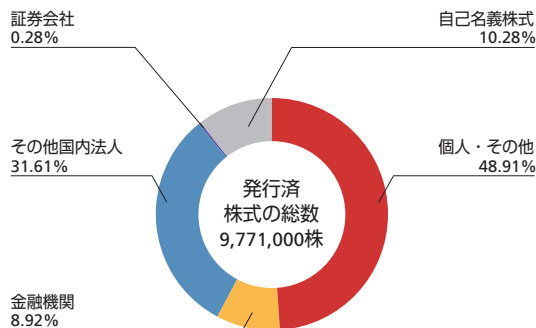
## 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
今川喜章	1,022,870	11.67
本田技研工業株式会社	988,950	11.28
今川順夫	959,170	10.94
太平洋工業株式会社	463,950	5.29
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	4.23
今村金属株式会社	330,000	3.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	325,000	3.71
株式会社大垣共立銀行	300,000	3.42
有限会社イマガワ	300,000	3.42
丸順取引先持株会	293,100	3.34

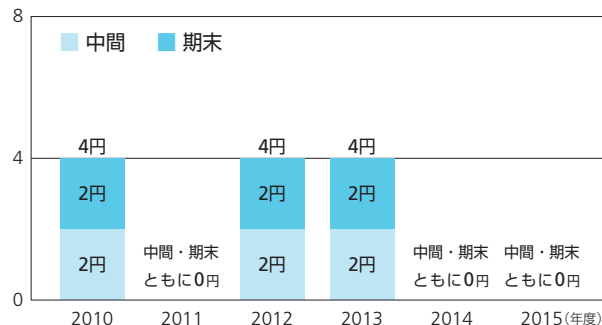
(注) 当社は、自己株式1,004,922株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株式分布状況

### ● 株式数構成比



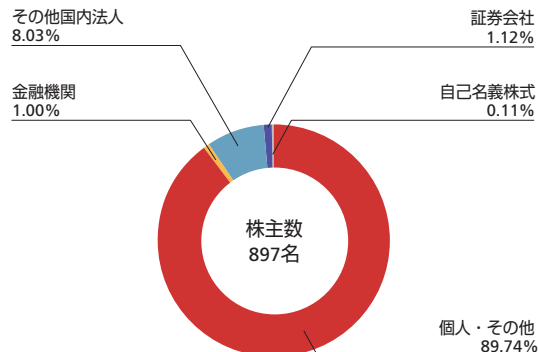
## 配当金の推移



当社グループの利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元が経営の重要政策の一つであると考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った安定的・継続的な成果配分を行うことを基本方針としております。

しかしながら当期におきましては「丸順構造改革プラン」の推進にあたり発生した減損損失及び事業構造改善等の計上により、依然として厳しい財政状態が続いております。早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、誠に遺憾ながら、当期における年間配当は無配とさせていただきます。

### ● 株主数構成比



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日 期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 株主優待制度廃止について

当社は、これまで株主優待制度として、毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載された1,000株以上所有の国内株主様を対象に、株主様のご選択により当社子会社「ホンダカーズ大垣」「ホンダオートテラス大垣」の各店でご利用いただける優待券又はカタログギフト等を贈呈してまいりました。

しかしながら、昨今の当社の厳しい経営状況を踏まえ、早期に経営状況の健全化を目指すという観点から慎重に検討を重ねました結果、前年度より株主優待制度を廃止させていただいております。

誠に申し訳ございませんが、株主の皆様には何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

